

Let's go to the art museum

医徳洲会 宇治徳洲会病院 神田 智香子

幼少の頃から心身ともに体育会系の私。いわゆる芸術科目で「5」を取ったことはありません。そんな私に近年異変が起っています！なんと去年、美術館に3回も行ったのです！

事の発端は数年前のスペイン旅行。添乗員に勧められ、ピカソのゲルニカを見に行ったのがきっかけです。その日は無料入館日で、あの有名なピカソを無料で?!と感動しました。プラド美術館ではガイドさんから名画に潜む裏話を面白おかしく教わり、絵画と私の距離がグッと縮まりました。

そして去年、兵庫県立美術館、大塚国際美術館、京都文化博物館へ足を運びました。大塚国際美術館は鳴門在住の医師いわく「鳴門で唯一のお勧めスポット」。1,000点を超す世界の名画が原寸大の陶板で複製されており、ここへ行けば世界の美術館巡りをしたような気分になること間違いなし。もちろん私を変えたゲルニカもありました。その上、美術館としては珍しく写真撮影自由なので、お気に入りの絵画コレクションが作れます。

未知の世界に足を踏み入れ、解説を読みながらじっくり回っていると、着実に知識が増え、とても充実した時間を感じます。これまで食わず嫌いだっただけで、美術館巡りも結構素敵なものですね。さて、今年はどんな作品に出会えるでしょうか？



かんだ ちかこ

下を向いて歩こう!?

三菱京都病院 勝間 真奈美

先日、家族で行った旅先で地面に向かって写真を撮るカシャ！車にひかれそうになりつつも撮っていたのは「マンホール」。

都道府県の多くの各市町村にオリジナルの絵柄が入ったマンホールがある。以前、友人の結婚式で訪れた富山駅のロータリーでかわいらしいカラーのお花のデザインのマンホールを発見して以来、遠くに行く機会があると、気づけば下を見てマンホールを探している私。

デザインの多くはその土地の観光名所や市町村が定めている木や花。ご当地ゆるキャラといった変わりダネなマンホールなどもあったりして、なかなかどの地方のデザインもクオリティが高く見ごたえがあるものがとても多い。観光地や駅など人通りが多いところには、デザインがカラーになっているマンホールもあり、カラーデザインに出会ったときはかなりテンションが上がってしまう。

観光地へ出かけたとしても、目の前に広がるきれいな景色を眺めることはあっても、なかなか下を見る機会は少ないのでは？もし良ければ、下を向いて歩いてみるのはいかがでしょう？今までと違った新しい出会いがあるかもしれません。



かつま まなみ